

Peach と鹿児島県が共同で「奄美群島応援団」を発足

- ・ 地元企業や自治体、パートナー企業との連携協力のもと奄美群島を盛り上げる取り組みを鹿児島県とともにキックオフ
- ・ 第一弾は、奄美大島信用金庫、「Origami Pay」のOrigamiとともにキャッシュレスを促進

Peach Aviation 株式会社(以下: Peach、本社: 大阪府泉南郡田尻町、代表取締役 CEO: 井上 慎一)は、本日、鹿児島県(知事: 三反園 訓)と共同で「奄美群島応援団」を立ち上げ、奄美群島の「観光資源開発」、「来島促進」、「経済貢献」を3つの柱とした地域の活性化と経済発展を目指す取り組みを共同で行うことを発表しました。



写真: 三反園訓鹿児島県知事(左)、Peach 代表取締役 CEO 井上慎一

この取り組みは、鹿児島県の地元企業や自治体の方々の主体的な取り組みをパートナー企業のみならずそれぞれの専門領域を活かしながら連携協力してサポートしていくものです。

第一弾として、奄美大島信用金庫(本店: 鹿児島県奄美市、理事長: 築 愛三)と、スマホ決済サービス「Origami Pay」を提供する株式会社 Origami(本社: 東京都港区、代表取締役社長: 康井 義貴)とともにキャッシュレスの促進を図る予定です。キャッシュレス決済の浸透不足は、訪日旅客を呼び込む際の大きな障害の一つになっていると認識しており、その普及により、観光地としての魅力がより高まることが期待されます。Peach では、今後も国内の潜在需要の喚起と訪日旅客の取込みによる恒常的かつ安定的な観光客流入と、その消費を促すための環境整備に向けた施策を関係者のみなさまとともに推進してまいります。

Peach 代表取締役 CEO の井上慎一は「Peach は就航以来、気軽な空の移動手段として多くの人々をエリアにお連れすると同時に、就航地を盛り上げることに尽力してまいりました。奄美群島でもチームの一員としてエリアの仲間に加えていただき、その活性化と発展に貢献したいと考えております。Peach の理念は『日本とアジアのかけ橋』です。チーム一丸となった取り組みにより、日本のみならず、アジアにも奄美群島の魅力が伝わり、奄美群島とアジアとの繋がりを広げていくことを願っています」と述べています。



写真: Peach 執行役員 轟木一博(左)、奄美大島信用金庫 伊東寛久専務理事(中央)、株式会社 Origami 桑原智隆取締役(右)

なお、Peach は東京(成田)ー奄美線を 10 月 1 日(火)から、大阪(関西)ー奄美線を 12 月 26 日(木)からそれぞれ 1 日 1 往復で運航します。

[Peach について\(www.flypeach.com\)](http://www.flypeach.com)

Peach は、2012 年 3 月に関西空港を拠点として運航を開始しました。現在では関西空港に加え、新千歳空港、仙台空港、那覇空港を拠点空港とし、27 機の機材で、国内線 17 路線と国際線 17 路線に就航しています。1 日あたりの運航便数は約 120 便で、毎日 18,000 人以上のお客様にご利用いただいています。Peach は成田空港を拠点空港とするバニラエアと 2019 年度末をめどに統合し、アジアのリーディング LCC を目指します。